

地上デジタルテレビチューナー 取扱説明書

ALPINE® TUE-T310

目次

ACCESS™ NetFront®



安全にお使いいただくために

目次	表紙
警告／注意	2

はじめに

特長

本機の特長	4
地上デジタル放送について	4
はじめて番組を見るまでの流れ	5
B-CAS（ビーカス）カードを挿入する	6
リモコンご使用にあたって	7
リモコンボタンの機能	8
基本操作	
リセットする	9
電源の ON/OFF	9

地上デジタル放送を見る

はじめて地上デジタル放送を見る

受信画面の見かた	10
地域に合ったチャンネルを自動設定する（オートプリセット）	10
登録したチャンネルを呼び出す	11
数字キーで直接呼び出す	11
プリセット番号を探して呼び出す	11
プリセットリストから呼び出す	11
番組情報（EPG）を見て選ぶ	12

チャンネルを選ぶ

手動で選ぶ	12
自動で選ぶ（SEEK）	12

チャンネルを登録する

手動で登録する	13
地域を設定してチャンネルを登録する	13

データ放送を見る

データ放送の設定	13
データ放送の呼び出し	14

ワンセグ放送を見る

ワンセグ放送の呼び出し	15
チャンネルを選ぶ	15
受信情報画面の見かた	15

便利な機能

便利な機能

受信情報を表示する	16
番組情報を見る（EPG）	16
詳細情報を見る	17
信号を切りかえる	17

設定

表示を設定する	18
システム設定	
オーディオレベルの設定	19
受信モードの自動切りかえ	19
B-CAS（ビーカス）カードの情報を見る	
B-CAS カードの情報を表示する	20
B-CAS カードをテストする	20
設定内容を初期化する	21

他製品から操作する

VIE-X07B/VIE-X07S から操作する

画面からタッチ操作する	22
リモコンから操作する	24

IVA-D310J/IVA-D310EU からタッチ

操作する	25
TVE-T860 からタッチ操作する	26



取り付けと接続

取り付けと接続	28
---------------	----

その他

都道府県設定一覧	38
用語説明	38
故障かな？と思ったら	39
規格	41
保証について	41
お問い合わせ窓口	42
索引	43

⚠安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り扱い上のご注意(共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布か強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

取り扱い上のご注意(B-CASカード)

B-CASカードを車内に放置しない

B-CASカードを炎天下の車内や厳冬期の車内には、長時間放置しないでください。特に直射日光下には絶対放置しないでください。B-CASカード故障の原因になります。

無理な力を加えない

B-CASカードはICチップを組み込んでいます。折り曲げたり、変形させないでください。

取り付け上のご注意

本機の設置場所について

本機は、車内の温度が極端に高くなる場所や、極端に低くなる場所には設置しないでください。特に直射日光の当たる場所や、シート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温となる場所を避けて取り付けてください。

特長

本機の特長

■ 本機は、地上デジタルテレビ専用チューナーです。

地上デジタル放送、ワンセグ放送、データ放送を受信することができます。
操作は本機添付のリモコンから行いますが、タッチパネル対応製品と接続することによって、タッチ操作を行うこともできます。

地上デジタル放送について

■ 地上デジタル放送とは？

地上波のUHF帯を使用して開始されたデジタル放送です。
2003年12月より一部の地域で開始され、順次放送が開始されていきます。

■ 地上デジタル放送の特長

- (1) デジタルハイビジョンの高画質^{*1}とCD並みの高音質
- (2) 標準画質による多チャンネル放送
- (3) 多様なデータ放送、双方向機能を活かした番組への参加^{*2}
- (4) 移動体受信でもゴーストのない鮮明な映像が視聴可能
- (5) EPGによる番組情報の確認
- (6) ワンセグ放送による移動体向けサービス^{*3}

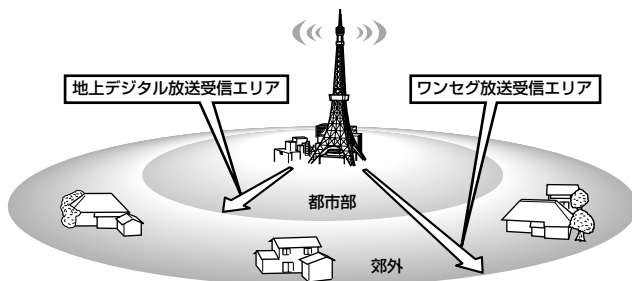
※1 本機は、ハイビジョン出力には対応していません。

※2 本機は、双方向サービスには対応していません。

※3 ワンセグ放送サービス開始時期は、それぞれの放送局で異なります。

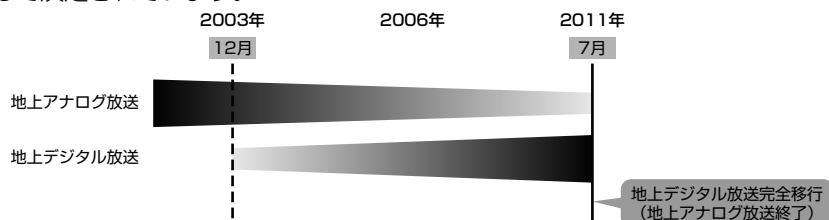
■ 地上デジタル放送とワンセグ放送の受信エリアについて

- ・地上デジタル放送は、高画質・高音質で地域に密着したデータ放送などを楽しむことができます。
- ・ワンセグ放送受信エリアは、地上デジタル放送の受信エリアに比べて広く、郊外などでも安定した受信が可能です。



■ 地上デジタル放送化のスケジュール

地上デジタル放送は2003年12月より、関東・中京・近畿の三大広域圏から開始され、2006年12月までに全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。
2011年7月には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログ放送を終了することが、国の施策として決定されています。



はじめて番組を見るまでの流れ

B-CAS カードを挿入する (6 ページ)

⚠ 必ず挿入してください。



リモコンを準備する (7 ページ)



車のイグニッションキーを ACC または ON の位置にすると電源が入る (9 ページ)



地域を選んでチャンネルを登録する

- ・ 地域に合ったチャンネルを自動設定する (オートプリセット) (10 ページ)



登録 (プリセット) したチャンネルを呼び出す

- ・ 数字キーで直接呼び出す (11 ページ)
- ・ プリセット番号を探して呼び出す (11 ページ)
- ・ プリセットリストから呼び出す (11 ページ)
- ・ 番組情報 (EPG) を見て選ぶ (12 ページ)



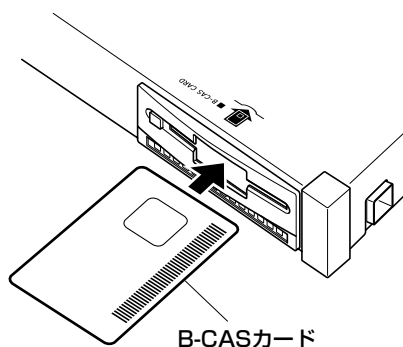
B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

B-CAS カードを挿入する前に

- 付属のB-CAS(ビーキャス)カードは、地上デジタル放送の視聴の際に必要です。必ず本体に挿入しておいてください。
- B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みの上、お客様ご自身でパッケージを開封し、B-CASカードを本機に正しく挿入してください。
- B-CASカードのユーザー登録はがきまたはホームページ(<http://www.b-cas.co.jp>)でユーザー登録をしてください。
ユーザー登録を行わないと、カードの交換などのサービスが受けられません。
- B-CASカードが貼りつけてあった台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせの際の案内などが記載されています。
- B-CASカードはICチップを組み込んでいます。取り扱いには十分注意してください。
 - ・折り曲げたり、変形させない。
 - ・水をかけたり、濡れた手でさわらない。
 - ・炎天下の車内や厳冬期の車内には、長時間放置しない。
 - ・分解加工は行わない。
- 付属のB-CASカードは本機でのみご使用ください。ほかの製品には使用しないでください。
- **B-CASカードについてのお問い合わせは**
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター TEL 0570 - 000250

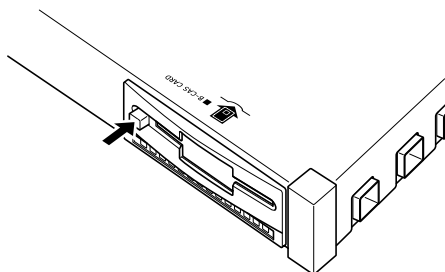
B-CAS カードを挿入する

- 1 イグニッションキーがOFFになっているか確認する。
- 2 B-CASカードの裏面を上にして本体に挿入する。
奥まで確実に、挿入してください。



B-CAS カードを取り出す

- 1 イグニッションキーがOFFになっているか確認する。
- 2 ▲を押す。
- 3 カードをゆっくり引き抜く。



● B-CASカード以外のものを挿入しないでください。

リモコンご使用にあたって

リモコン使用時のご注意

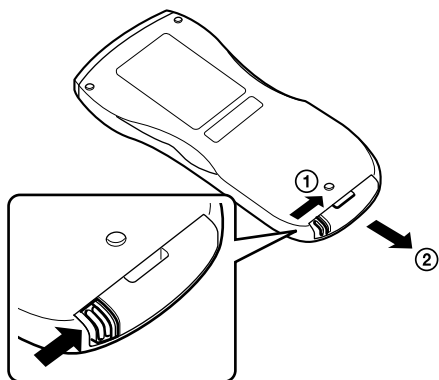
- リモコンは、リモコン送信部をテレビモニターのリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量な精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

電池はリチウム電池（CR2025）をご使用ください。

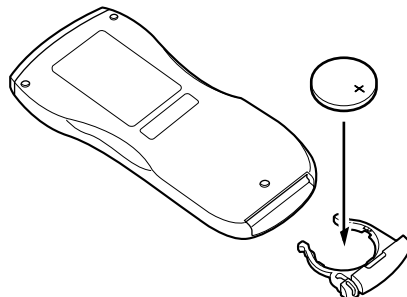
1 電池ホルダーを外す

矢印①の方向へ押しながら、矢印②の方向へ押し出します。



2 電池を入れる

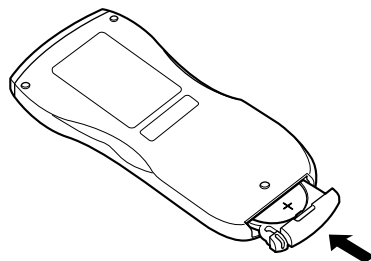
図のように（+）側を上に向けて、電池を入れてください。



- 電池の極性を逆に入れると故障の原因になります。

3 電池ホルダーを閉める

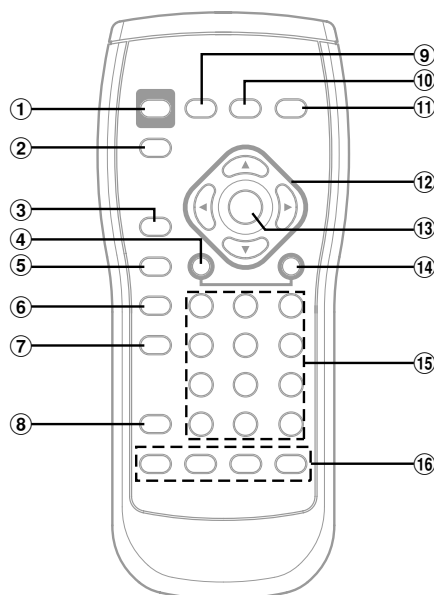
電池ホルダーを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。
事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

リモコンボタンの機能



		地上デジタル放送操作	参照 ページ	ワンセグ放送操作	参照 ページ
①	PWR	・ 電源 ON/OFF 切りかえ	P9	・ 電源 ON/OFF 切りかえ	P9
②	メニュー / 設定	・ クイック操作画面呼び出し ・ 2 秒以上押して、設定画面呼び出し			
③	戻る	・ SEEK 中：SEEK 動作停止 ・ チャンネルスキャン中：スキャン停止 ・ メニュー表示中：ひとつ前の選択画面へ戻る			
④	◀◀	・ チャンネル DOWN ・ 1 秒以上押して、SEEK DOWN	P12	・ 受信情報画面呼び出し	P15
⑤	MONITOR	・ TV モニター入力切りかえ*			
⑥	PRESET▲	・ プリセット番号 UP ・ 2 秒以上押して、チャンネルスキャン開始	P11	・ プリセット番号 UP	P15
⑦	PRESET▼	・ プリセット番号 DOWN ・ 2 秒以上押して、チャンネルスキャン開始	P11	・ プリセット番号 DOWN	P15
⑧	1 SEG	・ 地上デジタルテレビ放送と ワンセグ放送切りかえ	P15	・ 地上デジタルテレビ放送と ワンセグ放送切りかえ	P15
⑨	d	・ データ放送画面呼び出し	P14		
⑩	EPG	・ 番組情報画面呼び出し	P12、 P16		
⑪	DISP	・ 受信情報表示 ・ 番組情報（EPG）表示中：番組詳細情報表示	P16、 P17	・ 受信情報画面呼び出し	P15
⑫	▲▼◀▶	・ 画面に表示される項目を選択			
⑬	ENT.	・ 選択した項目を決定する			
⑭	▶▶	・ チャンネル UP ・ 1 秒以上押して、SEEK UP	P12	・ 受信情報画面呼び出し	P15
⑮	数字キー	・ プリセット番号呼び出し ・ 2 秒以上押して、プリセット登録 ・ 郵便番号入力時に使用	P11、 P13		
⑯	青、赤、緑、黄	・ データ放送受信時に使用	P14		

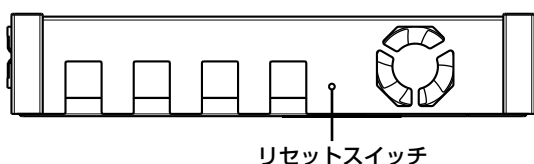
※(2005年10月以降発売のアルパイン製TVモニター接続時)
TVモニターのリモコン受光部に向けて操作を行ってください。

基本操作

リセットする

画面がおかしいときや操作ができなくなったときはリセットしてください。

- 1 「リセットスイッチ」をペン先などで押す。



電源のON/OFF

本機の電源をON / OFF します。

- 1 (PWR) を押す。
電源が入る。
- 2 電源を切るときは、再度 (PWR) を押す。



Memo

- 本機の初期設定はONです。
- 接続するTVモニターの取扱説明書も併せてご覧ください。
- 本機の電源がONのままイグニッションキーをOFFにした場合、次にイグニッションキーをACCまたはONにすると自動的に本機の電源もONになります。
- ワンセグ視聴中に電源をOFFにした場合、次にイグニッションキーをACCまたはONにすると、地上デジタル放送画面になります。
- 音量調整は、TVモニターまたはヘッドユニット側で行ってください。

はじめて地上デジタル放送を見る

受信画面の見かた

受信中のチャンネルについて、現在時刻、プリセット番号、3桁チャンネル番号、受信状態などを表示します。



- 表示する情報は、表示設定で設定することができます。詳しくは、「表示を設定する」(18ページ)を参照してください。



- ① 現在時刻**
現在の時刻が表示されます。
- ② 受信状態**
受信状態を5段階で表示します。

表示					
受信状態	圏外	微弱	弱	中	強

- ③ プリセット番号**
登録したチャンネルを受信しているときのみ表示されます。
- ④ 3桁チャンネル番号**
現在受信しているチャンネルが表示されます。

地上デジタル放送受信状態について

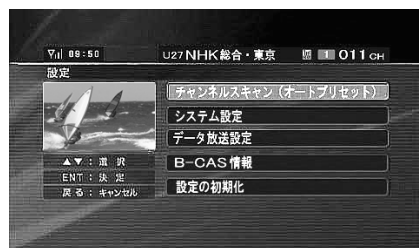
- 本機の受信エリアは、固定受信(家庭用受信機)に比べて狭くなる場合があります。
- 受信状態が悪い場合、映像および音声が出力されない場合があります。
- 高速走行時は受信状態が悪くなる場合があります。



地域に合ったチャンネルを自動設定する(オートプリセット)

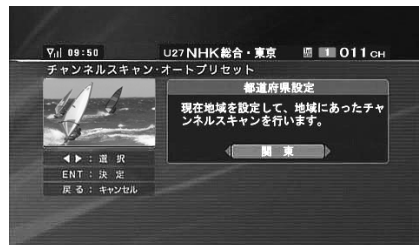
現在受信できるチャンネルを自動的に登録します。主にご使用になる地域(都道府県)を設定することにより、その地域に適切なプリセット番号(リモコンの数字キー)にチャンネルが割り振られます。

- 1** **メニュー/設定** を2秒以上押す。
設定メニューが表示される。
- 2** **▲** または **▼** を押して「チャンネルスキャン(オートプリセット)」を選び、**ENT.** を押す。



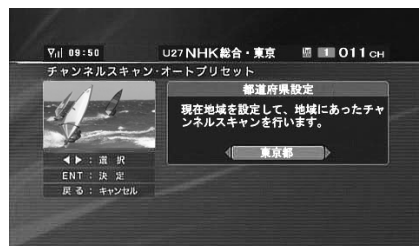
都道府県(地方)設定画面が表示される。

- 3** **◀** または **▶** を押して現在の地方名を選び、**ENT.** を押す。



都道府県設定画面が表示される。

- 4** **◀** または **▶** を押して現在の都道府県名を選び、**ENT.** を押す。



チャンネルスキャンを開始する。



- 受信画面で **(PRESET ▲)** または **(PRESET ▼)** を2秒以上押してもチャンネルスキャンを開始します。
- 都道府県設定エリアは「都道府県設定一覧」(38ページ)を参照してください。
- チャンネルスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。
- チャンネルスキャン中に **(戻る)** を押すと、スキャンを中止して都道府県設定画面に戻ります。

5 スキャンしたチャンネルを確認し、**(ENT.)** (決定)を押す。



スキャンしたチャンネルを登録(プリセット)し、プリセット番号の最も小さいチャンネルを受信する。



- オートプリセットは、地上デジタル放送モードからのみ実行可能です。
- スキャンしたチャンネルは、放送波によりあらかじめ指定されたプリセット番号へ登録されるため、登録されないプリセット番号がある場合があります。登録されていないプリセット番号には、「—」が表示されます。
- オートプリセットでは、放送局にチャンネルが複数ある場合、代表チャンネルをプリセット番号へ登録します。代表チャンネル以外のチャンネルは、「手動で選ぶ」(12ページ)で選んでください。
- 受信状況によっては、手動で受信可能なチャンネルでも登録できない場合があります。
- スキャンしたチャンネルが一つもない場合に、**(ENT.)** (決定)を押すと、チャンネルがないまま登録され、スキャン開始する前のチャンネルを受信します。
- スキャン終了後に **(戻る)** を押すと、スキャンしたチャンネルをキャンセルし、都道府県設定画面に戻ります。
- 最大12チャンネルまで登録されます。
- 同じ放送局が複数の周波数チャンネルで放送されている場合は、受信感度のよいチャンネルのみを登録します。
- 同じ地域で登録を行っても、受信状況により、登録されるチャンネルが異なることがあります。
- すでに登録されているチャンネルがある場合は、新しく登録した内容に書き換えられます。
- ワンセグ放送のみ受信可能なエリアでも、放送局がある場合はチャンネルを登録します。登録したチャンネルは、ワンセグ放送へ切りかえることで視聴可能です。

登録したチャンネルを呼び出す

登録したチャンネルを選ぶことができます。チャンネルを選ぶ方法は、「数字キーで直接呼び出す」、「プリセット番号を探して呼び出す」、「プリセットリストから呼び出す」、「番組情報(EPG)を見て選ぶ」の4通りがあります。

数字キーで直接呼び出す

リモコンの数字キー(1~12)は、プリセット番号1~12に連動しています。チャンネルがどのプリセット番号に登録されているかがわかっている場合は、すばやく呼び出すことができます。

- 1 数字キー **(1) ~ (12)** のいずれかを押す。
選んだプリセット番号のチャンネルを受信する。



- 登録されていないプリセット番号を選ぶと、メッセージが表示され、チャンネルを切りかえません。

プリセット番号を探して呼び出す

リモコンのプリセットアップ/ダウンボタンで1つずつ探して呼び出します。

- 1 **(PRESET ▲)** または **(PRESET ▼)** を押してプリセット番号を選ぶ。
PRESET ▲: プリセット番号が1つずつアップする。
PRESET ▼: プリセット番号が1つずつダウンする。



- 登録されていないプリセット番号はスキップします。

プリセットリストから呼び出す

プリセットリストを画面に表示して、放送局名を探して呼び出すことができます。

- 1 **(メニュー/設定)** を押す。
クイック操作画面が表示される。
- 2 **(▲)** または **(▼)** を押して「プリセットリスト」を選び、**(ENT.)** を押す。



プリセットリスト画面が表示される。

(次ページへつづく)

- 3 ▲ または ▼ を押してプリセットリストからプリセット番号を選び、ENT. を押す。



選んだプリセット番号のチャンネルを受信する。



- ◀ または ▶ を押すと、プリセットリスト画面のページを切りかえることができます。
- 戻る を押すと、クイック操作画面に戻ります。

番組情報 (EPG) を見て選ぶ

現在放送している番組情報を見ながら、登録したチャンネルを選ぶことができます。

- 1 EPG を押す。
受信中の番組情報が表示される。
- 2 ◀ または ▶ を押してプリセット番号を選び、ENT. を押す。



選んだプリセット番号のチャンネルを受信する。



- 番組情報 (EPG) 画面では、より詳細な番組説明を見ることができます。詳しくは、「番組情報を見る (EPG)」(16ページ)を参照してください。
- 番組情報を表示するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

チャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

手動でチャンネルを選びます。

- 1 ◀ または ▶ を押す。
◀◀：チャンネルが1つずつダウンする。
▶▶：チャンネルが1つずつアップする。



- 放送局で複数のチャンネルが放送されている場合は、それぞれのチャンネルを選ぶことができます。

自動で選ぶ (SEEK)

現在受信しているチャンネルから一番近い放送局を自動で受信します。

- 1 ◀ または ▶ を1秒以上押す。



受信しているチャンネルに一番近い放送局を自動的に選局して、受信したところで止まる。



- 途中で中止するには、戻る を押します。
- SEEKは地上デジタル放送モードからのみ実行可能です。
- ワンセグ放送のみ受信可能なエリアでも、放送局がある場合はSEEKストップします。ワンセグインジケーターが点灯している場合は、ワンセグ放送へ切りかえることでワンセグ放送が視聴可能です。

チャンネルを登録する

チャンネルを登録するには、手動で1つずつ登録する方法と地域を選んで自動的に登録する方法があります。

手動で登録する

よく見るチャンネルだけを登録したり、好みのプリセット番号に登録する場合などに便利です。

- 1 手動選局または自動選局で登録したいチャンネルを選ぶ。
- 2 登録したいプリセット番号の数字キー **(1) ~ (12)** のいずれかを2秒以上押す。
チャンネルがプリセット番号に登録される。



- すでに登録されている番号に登録させると、後から登録したチャンネルが有効になります。
- 受信できないチャンネルは登録できません。

地域を設定してチャンネルを登録する

地域を設定して、地域にあったチャンネルを自動的に登録します。

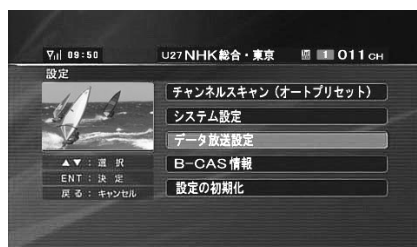
操作について詳しくは、「地域に合ったチャンネルを自動設定する（オートプリセット）」(10ページ)を参照してください。

データ放送を見る

データ放送の設定

主にご使用になる地域の郵便番号、都道府県を設定することで地域にあったデータ放送を見ることができます。

- 1 **(メニュー/設定)** を2秒以上押す。
設定メニューが表示される。
- 2 **(▲)** または **(▼)** を押して「データ放送設定」を選び **(ENT.)** を押す。



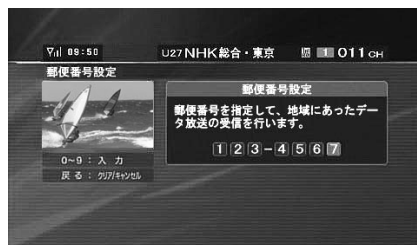
データ放送設定画面が表示される。

- 3 **(▲)** または **(▼)** を押して「郵便番号設定」を選び **(ENT.)** を押す。



郵便番号設定画面が表示される。

- 4 数字キー **(1) ~ (10/0)** を押して現在の地域に合った郵便番号7桁を入力し、**(ENT.)** を押す。



データ放送設定画面に戻る。



- 郵便番号入力中に **(戻る)** を押した場合、1桁目入力待ち状態へ戻ります。
- 郵便番号7桁目入力後、2秒間操作を行わなかった場合でも設定が保存されデータ放送設定メニューへ切りかわります。

(次ページへつづく)

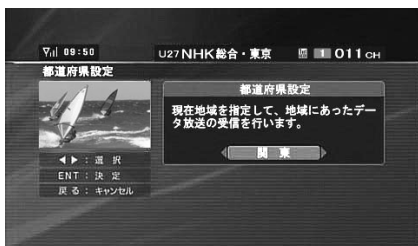
地上デジタル放送を見る

- 5 **▲** または **▼** を押して「都道府県設定」を選び **ENT.** を押す。



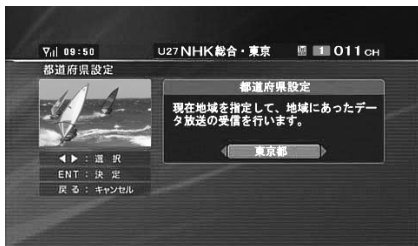
都道府県（地方）設定画面が表示される

- 6 **◀** または **▶** を押して現在の地方名を選び **ENT.** を押す。



都道府県設定画面が表示される。

- 7 **◀** または **▶** を押して現在の都道府県名を選び **ENT.** を押す。



- 8 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。

データ放送の呼び出し

現在受信中の番組がデータ放送を行っている場合、番組に連動したいろいろな情報を見ることができます。（操作の仕方は番組によって異なります。）

- 1 **d** を押す。



（表示例）

データ放送画面が表示される。

- 2 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して見たい項目を選び **ENT.** を押す。



Memo

- 番組によってはカラーボタン（**青** **赤** **緑** **黄**）が表示されます。
画面に従ってカラーボタンを押して操作することができます。
- 本機は視聴者参加型の双方向通信には対応しておりません。

ワンセグ放送を見る

ワンセグ放送の呼び出し

- 1 地上デジタル放送視聴中に **1SEG** を押す。
ワンセグ放送に切りかわる。
- 2 地上デジタル放送に戻るにはもう一度 **1SEG** を押す。
地上デジタル放送に切りかわる。



- 地上デジタル放送の受信情報にワンセグインジケータが点灯している場合、ワンセグ放送が行われています。〔受信情報を表示する〕16ページ参照)
- 地上デジタル放送の受信情報表示中は、ワンセグ放送への切りかえはできません。
- 地上デジタル放送受信エリアでは、〔受信モードの自動切りかえ〕(19ページ)で「する」に設定している場合、ワンセグ放送画面表示後に自動で地上デジタル放送に切りかわります。

チャンネルを選ぶ

ワンセグ放送は、地上デジタル放送がプリセット登録されている場合にチャンネルを選ぶことができます。詳しくは「地域に合ったチャンネルを自動設定する(オートプリセット)」(10ページ)を参照してください。

- 1 ワンセグ放送視聴中に **PRESET ▲** または **PRESET ▼** でチャンネルを選ぶ。

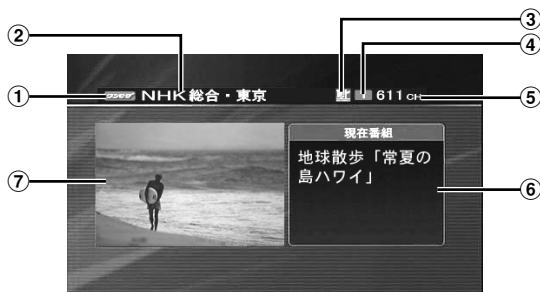


- 登録されていないプリセット番号はスキップします。
- 放送局によっては、ワンセグ放送のコンテンツがないため、プリセット番号が登録されている場合でも視聴できない場合があります。
- プリセットが1つも登録されていない場合は自動で地上デジタル放送に切りかわります。

受信情報画面の見かた

ワンセグ放送視聴中はフル画面と受信情報画面の切りかえができます。

- 1 フル画面時に **DISP** または **◀▶** を押す。
受信情報画面に切りかわる。



- ① **ワンセグ放送インジケータ**
現在受信しているチャンネルがワンセグ放送であることを表します。
- ② **放送局名**
現在受信している放送局名を表示します。
- ③ **地上デジタル放送インジケータ**
地上デジタル放送受信可能な場合に点灯します。
- ④ **プリセット番号**
登録されている番号を表示します。
- ⑤ **3桁チャンネル番号**
現在受信しているチャンネルが表示されます。
- ⑥ **現在番組**
現在受信している番組名が表示されます。
- ⑦ **受信中の番組映像**



- フル画面に戻るにはもう一度 **DISP** または **◀▶** を押します。
- 番組情報が無い場合は、「情報がありません」と表示されます。
- 地上デジタル放送からフル画面のワンセグ放送へ切りかえた場合や、フル画面のワンセグ放送視聴中にチャンネル切りかえをした場合、①～⑤までの受信情報が表示されます。
- フル画面及び受信情報画面でワンセグ放送が行われていない放送局を選択した場合、放送局名には「-----」、チャンネル番号には「---ch」と表示され、番組映像は映し出されません。
- 地上デジタル放送インジケータが点灯している場合、地上デジタル放送も視聴できます。

便利な機能

受信情報を表示する

受信中のチャンネルについて、現在時刻、チャンネル情報、受信状態などを表示します。

- 1 受信中に **[DISP]** を押す。
画面に受信情報が約 5 秒間表示される。



- 1 現在時刻
現在の時刻が表示されます。
- 2 受信状態
受信状態を 5 段階で表示します。
- 3 プリセット番号
登録したチャンネルを受信しているときのみ表示されます。
- 4 3桁チャンネル番号
現在受信しているチャンネルが表示されます。
- 5 ワンセグインジケター
現在視聴中の放送局がワンセグ放送を行っている場合のみ点灯します。
- 6 放送局名
放送局名を取得したときに表示されます。放送局名を取得するまでは、「—」が表示されます。
- 7 周波数チャンネル
UHF13～UHF62までの放送が行われている周波数チャンネルが表示されます。
- 8 現在番組情報
番組情報取得後に表示されます。番組名、番組スケジュールや各種情報がインジケター表示されます。(インジケター一覧参照)



●ワンセグインジケターが点灯している場合でも、実際のコンテンツなどがない放送局は視聴できない場合があります。

<インジケター一覧>

表示インジケター	説明
!	臨時チャンネルを受信した場合に表示
字幕アイコン	字幕データが存在する場合に表示
+d	データ付加番組を選択した場合に表示
d	独立データ番組を選択した場合に表示
映像アイコン	映像が複数存在する場合に表示
+♪	音声が多音存在する場合に表示
主	音声多重放送の場合、音声多重設定が主音声である場合に表示
副	音声多重放送の場合、音声多重設定が副音声である場合に表示
ST	音声ステレオの場合に表示

番組情報を見る (EPG)

受信中の番組情報や次番組の情報を確認することができます。さらに詳細な情報を見ることができます。

- 1 **[EPG]** を押す。
受信中の番組情報と次番組情報が表示される。



- 1 現在受信中の番組情報と放送時間
- 2 次番組の番組情報と放送時間
- 3 選んでいる番組の月日
- 4 番組情報が現在受信中のチャンネルのときに表示
- 5 受信中の番組映像
- 6 操作補助
番組情報画面でできる操作が表示されます。対応するリモコンボタンを押します。
DISP: 選んだ番組の詳細情報を表示します。
ENT: 選んだ番組を受信します。
▲▼: 番組を選びます。
◀▶: プリセットチャンネルを選局します。
戻る: 番組情報画面を表示する前の画面に戻します。

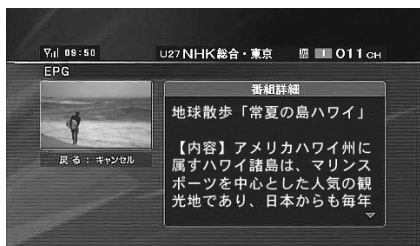


●番組情報を表示するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

詳細情報を見る

選んだ番組の、さらに詳細な情報を見ることができます。

- 1 番組情報画面 (EPG) で番組を選び、**[DISP]**を押す。
選んだ番組の詳細な情報が表示される。



Memo

- 詳細情報が複数ページある場合は、「▲」または「▼」が画面に表示されます。「▲」または「▼」を押してページを切りかえてください。
- **[戻る]**を押すと、番組情報画面に戻ります。

信号を切りかえる

受信中の番組に音声信号や映像信号が複数ある場合や、字幕や文字スーパーがある場合に、信号を切りかえることができます。

- 1 **[メニュー/設定]**を押す。
クイック操作画面が表示される。
- 2 **[▲]** または **[▼]** を押して「信号切換え」を選び、**[ENT.]**を押す。



信号切換え画面が表示される。

- 3 **[▲]** または **[▼]** を押して切りかえたい信号を選び、**[◀]** または **[▶]** を押して設定項目を切りかえる。



- ・ 音声：音声信号を切りかえる。
- ・ 音声多重：主音声 / 副音声を切りかえる。
主 — 主音声
副 — 副音声
- ・ 映像：映像信号を切りかえる。
- ・ 字幕：字幕言語を切りかえる。
OFF に設定すると字幕表示が OFF になる。
- ・ 文字スーパー：文字スーパー言語を切りかえる。
OFF に設定すると文字スーパー表示が OFF になる。

- 4 各項目設定後 **[ENT.]**を押す。
設定を保存しクイック操作画面へ戻る

- 5 **[メニュー/設定]**を押して設定モードを終了させる。



Memo

- 「音声」と「映像」は信号が1つの場合は、信号を切りかえることはできません。
- 「音声」と「映像」はチャンネルを切りかえると、設定内容が無効になり記憶されません。
- 設定中 **[戻る]**を押すと、設定は保存されません。

表示を設定する

受信中のチャンネルについて、画面に表示する現在時刻、チャンネル情報、受信状態などを設定します（工場出荷時の設定は、すべて「する」）。



● 設定した表示設定は、受信画面に表示することができます。詳しくは、「受信情報を表示する」(16ページ)を参照してください。

- 1 **メニュー/設定** を押す。
クイック操作画面が表示される。
- 2 **▲** または **▼** を押して「表示設定」を選び、**ENT.** を押す。



表示設定画面が表示される。

- 3 **▲** または **▼** を押して設定したい項目を選ぶ。



- 受信状態 : 受信レベルを5段階で表示する。
- 現在時刻 : 現在の時刻を表示する。
- CH 情報 : 受信中のチャンネル情報（プリセット番号、3桁チャンネル番号）を表示する。
- 番組情報 : 選局後の番組情報表示を行う。
- データ取得状態 : データ放送のデータ取得中に「データ取得中」と表示する。

- 4 **◀** または **▶** を押して「する」または「しない」を選ぶ。



する : 受信画面に選んだ項目を表示する。
しない : 受信画面に選んだ項目を表示しない。

- 5 続けて他の項目を設定する場合は、手順3～4を繰り返す。
- 6 **ENT.** を押す。
設定を保存しクイック操作画面に戻る。
- 7 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。



● 設定中 **戻る** を押すと、設定は保存されません。

システム設定

オーディオレベルの設定

本機を接続後、放送を視聴して音が歪む場合は設定を切りかえてください。

オーディオレベルは1～3の3段階に設定でき、1→2→3の順に大きくなります。

- 1 **メニュー/設定** を2秒以上押す。
設定メニューが表示される。
- 2 **▲** または **▼** を押して「システム設定」を選び、**ENT.** を押す。



システム設定画面が表示される。

- 3 **▲** または **▼** を押して「Audio level」を選ぶ。
- 4 **◀** または **▶** を押してオーディオレベルを3 / 2 / 1 のいずれかに切りかえ、**ENT.** を押す。

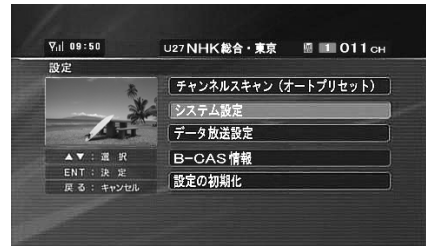


- 5 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。

受信モードの自動切りかえ

地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切りかえることができます。

- 1 **メニュー/設定** を2秒以上押す。
設定メニューが表示される。
- 2 **▲** または **▼** を押して「システム設定」を選び、**ENT.** を押す。



システム設定画面が表示される。

- 3 **▲** または **▼** を押して「受信モード自動切換え」を選ぶ。
- 4 **◀** または **▶** を押して「する」または「しない」を選び、**ENT.** を押す。



する : 地上デジタル放送とワンセグ放送が自動で切りかわります。

しない : 自動切りかえを行いません。

- 5 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。

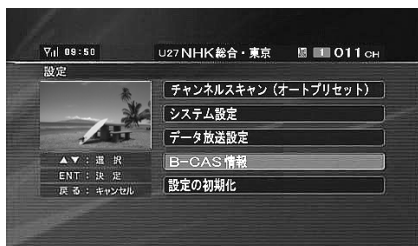


- 「する」に設定した場合、現在視聴している地上デジタル放送の受信レベルが低くなると自動でワンセグ放送に切りかわります。
また、ワンセグ放送受信エリアから地上デジタル放送受信可能エリアに移動した場合、自動で地上デジタル放送に切りかわります。
- 設定中 **戻る** を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

B-CAS（ビーキャスト）カードの情報を見る

B-CAS カードの情報を確認したり、B-CAS カードが正常に機能しているかテストすることができます。

- 1 **メニュー/設定** を2秒以上押す。
設定画面が表示される。
- 2 **▲** または **▼** を押して「B-CAS 情報」を選び、**ENT.** を押す。



B-CAS 情報画面が表示される。

B-CAS カードの情報を表示する

- 1 B-CAS 情報画面で **▲** または **▼** を押して「B-CASカード情報表示」を選び、**ENT.** を押す。



B-CAS カード情報画面が表示される。

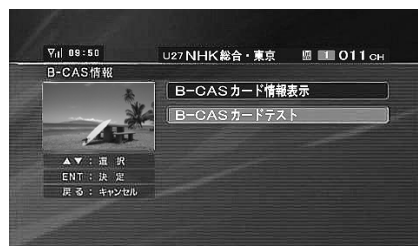
- 2 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。



- **戻る** を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

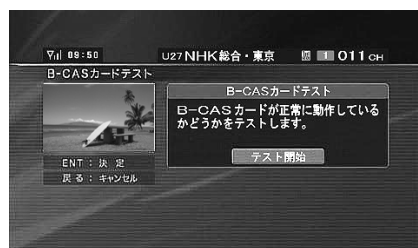
B-CAS カードをテストする

- 1 B-CAS 情報画面で **▲** または **▼** を押して「B-CASカードテスト」を選び、**ENT.** を押す。



B-CAS カードテスト画面が表示される。

- 2 **ENT.** (テスト開始) を押す。



B-CAS カードのテストを開始する。
テストが終了すると、テスト完了のメッセージを約2秒間表示し、B-CAS カードテスト画面に戻る。

- 3 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。

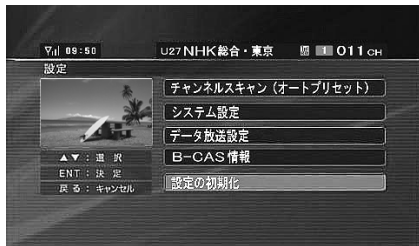


- B-CASカードのテスト中は、B-CASカードを取り出したり、電源をOFFにしないでください。カードの破損や故障の原因になります。
- **戻る** を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

設定内容を初期化する

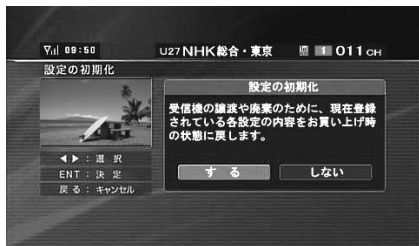
本機を譲渡または廃棄などをする際に、設定した内容を初期化し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 1 **メニュー/設定** を2秒以上押す。
設定画面が表示されます。
- 2 **▲** または **▼** を押して「設定の初期化」を選び、**ENT.** を押す。



設定の初期化画面が表示される。

- 3 **◀** または **▶** を押して「する」または「しない」を選び、**ENT.** を押す。



「する」を選んだ場合は、設定の初期化を開始する。
初期化が終了すると、初期化完了のメッセージを約2秒間表示し、設定の初期化画面に戻る。

- 4 **メニュー/設定** を押して設定モードを終了させる。



- 設定の初期化中は電源をOFFにしないでください。破損や故障の原因となります。
- **戻る** を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

VIE-X07B/VIE-X07S から操作する

VIE-X07B/VIE-X07S と接続した場合は、タッチ操作と VIE-X07B/VIE-X07S 添付のリモコンで本機を操作することができます。



- タッチ操作、VIE-X07B/VIE-X07S 添付のリモコン操作では一部の操作ができません。
- VIE-X07B/VIE-X07S の操作説明書も併せてご覧ください。
- タッチスイッチによりチャンネル番号などが隠れる場合があります。

画面からタッチ操作する

地上デジタル TV 放送を見る

- 1 **[MENU/POWER]** スイッチを押した後、**[サウンド・映像]** にタッチする。
- 2 **[DTV]** にタッチする。



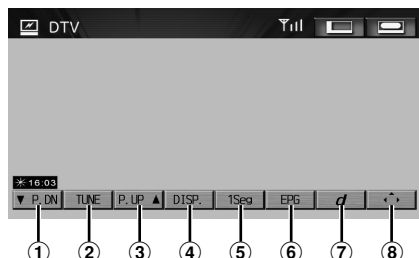
最後に見ていたチャンネルのテレビ画面が表示される。



- VIE-X07B/VIE-X07S の外部入力製品名を「DTV」に設定してください。VIE-X07B/VIE-X07S 取扱説明書の「AUX 設定」の「外部入力に表示名をつける」を参照してください。
- アナログ放送視聴中に限り、地上デジタル放送受信可能エリアに移動すると番組視聴中は画面右上に、TV 操作画面では画面右下に「DTV IND」インジケータが表示され、地上デジタル放送受信可能エリア内であることを知らせます。

操作画面を表示する

- 1 画面にタッチする。
操作画面が表示される。



- 1 **◀ CH.DN**
チャンネルが 1 つずつダウンします。(→P12)
タッチし続けると、自動選局(SEEK DOWN)します。(→P12)
- ▼ P.DN**
プリセット番号が 1 つずつダウンします。*
(→P11、P15)
タッチし続けるとチャンネルスキャンを開始します。(→P11)
- 2 **TUNE**
選局方法(チャンネルおよびプリセット番号)を切りかえます。
- 3 **CH.UP ▶**
チャンネルが 1 つずつアップします。(→P12)
タッチし続けると、自動選局(SEEK UP)します。(→P12)
- ▲ P.UP**
プリセット番号が 1 つずつアップします。*
(→P11、P15)
タッチし続けるとチャンネルスキャンを開始します。(→P11)
- 4 **DISP.**
受信状態を表示します。*(→P15、P16)
番組情報画面(EPG)表示中に押すと、番組詳細情報が表示されます。(→P17)
- 5 **1SEG ***
地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえます。
(→P15)
- 6 **EPG**
番組情報画面(EPG)を呼び出します。(→P12、P16)
- 7 **d**
データ放送を呼び出します。(→P14)
- 8 **◀▶**
操作画面を切りかえます。

※ワンセグ放送時も操作が可能です。



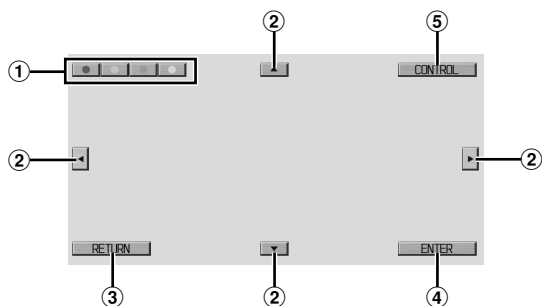
- しばらく(約5秒)操作しないと操作画面は消えます。

メニューコントロール画面

クイック操作画面、設定画面などをメニューコントロール画面で操作します。

1 操作画面で [方向キー] にタッチする。

メニューコントロール画面が表示される。



① ● (青)、● (赤)、● (緑)、● (黄)
データ放送受信時に使用します。

② ▲▼◀▶
画面に表示される項目を選択します。

③ RETURN
1 つ前の画面に戻します。

④ ENTER
選択した項目を決定します。

⑤ CONTROL
操作画面を切りかえます。

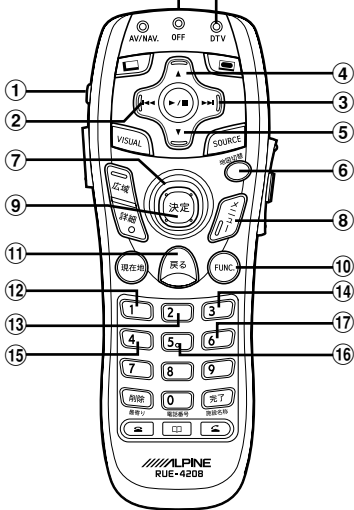


Memo

- しばらく(約5秒)操作しないとメニューコントロール画面は消えますが、画面にタッチすると再び表示されます。
- 設定画面はタッチ操作では呼び出すことができません。リモコンの **メニュー/設定** ボタンを2秒以上押し続けて呼び出してください。

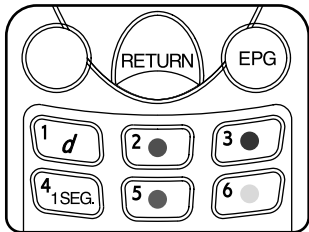
リモコンから操作する

地上デジタルTV送信時のインジケーター
リモコン信号送信部



Memo

- モード切りかえスイッチを「DTV」側に切りかえてください(VIE-X07B/VIE-X07S取扱説明書の「リモコン操作」の「切りかえスイッチについて」参照)。
- 地上デジタルTV操作用リモコンシールを貼り付ける
VIE-X07B/VIE-X07S添付の操作シールを貼ってお使いいただくと便利です。



		地上デジタル放送操作	参照 ページ	ワンセグ放送操作	参照 ページ
①	①	・ 電源 ON/OFF 切りかえ	P9	・ 電源 ON/OFF 切りかえ	P9
②	◀◀	・ チャンネル DOWN ・ 1 秒以上押しで、SEEK DOWN	P12	・ 受信情報表示	P15
③	▶▶	・ チャンネル UP ・ 1 秒以上押しで、SEEK UP	P12	・ 受信情報表示	P15
④	▲	・ プリセット番号 UP ・ 2 秒以上押しで、チャンネルスキャン開始	P11	・ プリセット番号 UP	P15
⑤	▼	・ プリセット番号 DOWN ・ 2 秒以上押しで、チャンネルスキャン開始	P11	・ プリセット番号 DOWN	P15
⑥	地図切替	・ 受信情報表示 ・ 番組情報 (EPG) 表示中：番組詳細情報表示	P16、 P17	・ 受信情報表示	P15
⑦	ジョイスティック	・ 画面に表示される項目を選択			
⑧	メニュー	・ クイック操作画面呼び出し ・ 2 秒以上押しで、設定画面呼び出し			
⑨	決定	・ 選択した項目を決定する			
⑩	FUNC.	・ 番組情報画面 (EPG) 呼び出し	P12、 P16		
⑪	戻る	・ SEEK 中：SEEK 動作停止 ・ チャンネルスキャン中：スキャン停止 ・ メニュー表示中：ひとつ前の選択画面へ戻る			
⑫	1	・ データ放送画面呼び出し	P14		
⑬	2	・ データ放送受信時に使用 (青)	P14		
⑭	3	・ データ放送受信時に使用 (赤)	P14		
⑮	4	・ 地上デジタルテレビ放送と ワンセグ放送の切りかえ	P15	・ 地上デジタルテレビ放送と ワンセグ放送の切りかえ	P15
⑯	5	・ データ放送受信時に使用 (緑)	P14		
⑰	6	・ データ放送受信時に使用 (黄)	P14		

IVA-D310J/IVA-D310EU からタッチ操作する

IVA-D310J/IVA-D310EUと接続した場合は、タッチ操作で本機を操作することができます。



Memo

- タッチ操作では一部の操作ができません。タッチ操作ができない場合は、リモコンから操作してください。
- IVA-D310J/IVA-D310EUの操作説明書も併せてご覧ください。
- タッチスイッチによりチャンネル番号などが隠れる場合があります。

地上デジタルTV放送を見る

- 1 メインソース画面上の [SOURCE] にタッチする。
ソース選択画面が表示される。

- 2 [DTV] にタッチする。

地上デジタルTV画面が表示される。

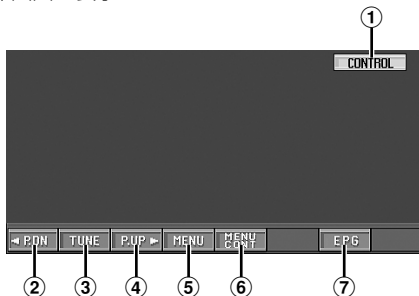


Memo

- IVA-D310J/IVA-D310EUの外部入力製品名を「DTV」に設定してください。IVA-D310J/IVA-D310EU取扱説明書の「外部入力に表示名をつける」を参照してください。

操作画面を表示する

- 1 画面にタッチする。
操作画面が表示される。



- ① **CONTROL**
IVA-D310J/IVA-D310EUのメインソース画面を表示します。
- ② **◀ P.DN**
プリセット番号が1つずつダウンします。*(→P11、P15)
◀ CH DN
チャンネルが1つずつダウンします。(→P12)
タッチし続けると、自動選局 (SEEK DOWN) します。(→P12)
ワンセグ放送時は、フル画面と受信情報画面を切りかえます。(→P15)
- ③ **TUNE**
選局方法 (チャンネルおよびプリセット番号) を切りかえます。

- ④ **P.UP ▶**
プリセット番号が1つずつアップします。
(→P11、P15)
CH UP ▶
チャンネルが1つずつアップします。*(→P12)
タッチし続けると、自動選局 (SEEK UP) します。(→P12)
ワンセグ放送時は、フル画面と受信情報画面を切りかえます。(→P15)
- ⑤ **MENU**
クイック操作画面を呼び出します。
- ⑥ **MENU CONT**
メニューコントロール画面を表示します。
- ⑦ **EPG**
番組情報画面 (EPG) を呼び出します。(→P12、P16)

※ワンセグ放送時も操作が可能です。



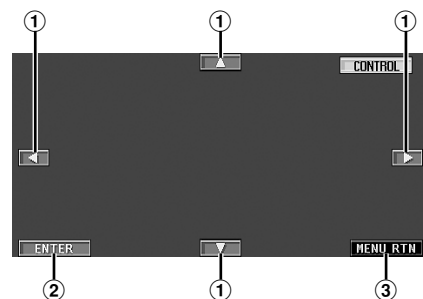
Memo

- しばらく (約5秒) 操作しないと操作画面は消えます。
- タッチ操作でのチャンネルスキャンはできません。リモコンから操作を行ってください。

メニューコントロール画面

クイック操作画面、設定画面などをメニューコントロール画面で操作します。

- 1 操作画面で [MENU CONT] にタッチする。
メニューコントロール画面が表示される。



- ① **▲▼◀▶**
画面に表示される項目を選択します。
- ② **ENTER**
選択した項目を決定します。
- ③ **MENU RTN**
ひとつ前の画面に戻します。



Memo

- しばらく (約5秒) 操作しないとメニューコントロール画面は消えますが、画面にタッチすると再び表示されます。
- 設定画面はタッチ操作では呼び出すことができません。リモコンの「メニュー/設定」ボタンを2秒以上押して呼び出してください。

TVE-T860 からタッチ操作する

TVE-T860と接続した場合は、タッチ操作で本機を操作することができます。



- タッチ操作では一部の操作ができません。タッチ操作ができない場合は、リモコンから操作してください。
- TVE-T860の操作説明書も併せてご覧ください。
- タッチスイッチによりチャンネル番号などが隠れる場合があります。

地上デジタルTV放送を見る

1 メインソース画面上的 [SOURCE] にタッチする。
ソース選択画面が表示される。

2 [DTV] にタッチする。
地上デジタルTV画面が表示される。



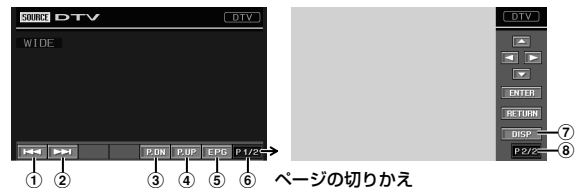
- TVE-T860の外部入力製品名を「DTV」に設定してください。TVE-T860取扱説明書の「セットアップ操作」の「外部入力に表示名をつける」を参照してください。
- モニター本体の **[SOURCE]** ボタンを押すことでソースを切りかえることもできます。各メインソース画面に切りかわる。

→TV → NAV. → AUX-1 → AUX-2 → S-VIDEO (DTV)

- アナログ放送視聴中に限り、地上デジタル放送受信可能エリアに移動した場合、モニター本体の **[POWER]** ボタンが5回点滅し、地上デジタル放送受信可能エリア内であることを知らせます。

操作画面を表示する

1 画面にタッチする。
操作画面が表示される。



ページの切りかえ

- 1** **◀◀**
チャンネルが1つずつダウンします。(→P12)
タッチし続けると、自動選局 (SEEK DOWN) します。(→P12)
ワンセグ放送時は、フル画面と受信情報画面を切りかえます。(→P15)
- 2** **▶▶**
チャンネルが1つずつアップします。(→P12)
タッチし続けると、自動選局 (SEEK UP) します。(→P12)
ワンセグ放送時は、フル画面と受信情報画面を切りかえます。(→P15)
- 3** **P.DN**
プリセット番号が1つずつダウンします。*
(→P11、P15)
タッチし続けると、チャンネルスキャンを開始します。(→P11)
- 4** **P.UP**
プリセット番号が1つずつアップします。*
(→P11、P15)
タッチし続けると、チャンネルスキャンを開始します。(→P11)
- 5** **EPG**
番組情報画面 (EPG) を呼び出します。
(→P12、P16)
- 6** **ファンクションガイドのページ切りかえ**
- 7** **DISP**
受信状態を表示します。(→P15、P16)
番組情報画面 (EPG) 表示中に押すと番組詳細情報が表示されます。(→P17)
ワンセグ放送時は、フル画面と受信情報画面を切りかえます。(→P15)
- 8** **ファンクションガイドのページ切りかえ**

※ワンセグ放送時も操作が可能です。



- しばらく(約5秒)操作しないと操作画面は消えます。

メニューコントロール画面

クイック操作画面、設定画面などをファンクションガイド (2/2) 画面で操作します。

1 操作画面で [P1/2] にタッチする。

ファンクションガイド (2/2) 画面が表示される。



(例：設定画面)

① ▲▼◀▶

画面に表示される項目を選択します。

② ENTER

選択した項目を決定します。

③ RETURN

ひとつ前の画面に戻します。



Memo

- しばらく(約5秒)操作しないとメニューコントロール画面は消えますが、画面にタッチすると再び表示されます。
- 設定画面はタッチ操作では呼び出すことができません。リモコンの(メニュー/設定) ボタンを2秒以上押して呼び出してください。

取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - ・RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

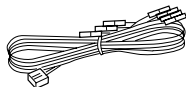
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 不明な点はお買い上げの店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。

- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード



PIN接続コード(5m)



マジックテープ



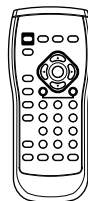
×2

リモコン受光ユニット一式(5.5m)



(両面テープ)

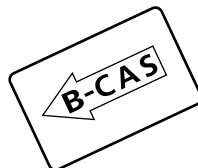
リモコン



電池(CR2025)

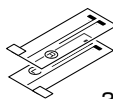


B-CASカード



フロント用フィルムアンテナ式

フィルムアンテナ



2枚1組

アンテナ入力コード
(5m)



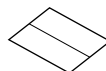
×2

クランプ



×6

テープ
(アース部貼付用)

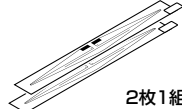


クリーナー



リア用フィルムアンテナ式

フィルムアンテナ



2枚1組

アンテナ入力コード
(7m)



×2

クランプ



×6

クリーナー



- バッテリーのマイナス端子を外す。



- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

3. フィルムアンテナの取付

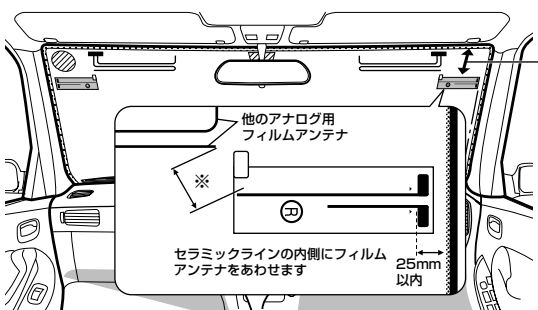
- フィルムアンテナは、フロント用/リア用があります。
作業を始める前に、必ず貼り付け位置を確認してください。特にリア用フィルムアンテナは、デフォッグライン(熱線)上に貼り付けると受信感度低下の原因となります。詳しくは「リア用フィルムアンテナの取り付け」(30ページ)を参照し、貼り付け位置を確認してください。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めて、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。

1. フロント用フィルムアンテナの取り付け

フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する

- 1) フィルムアンテナの給電端子をセラミックラインの左右両端に合わせ、セロハンテープで仮止める。

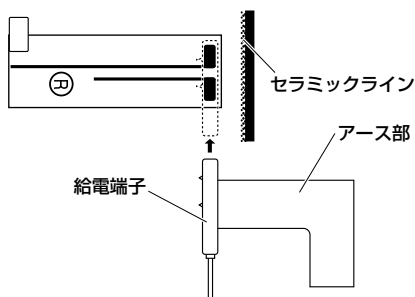
ウィンドウ端部より150mm程度離してください。



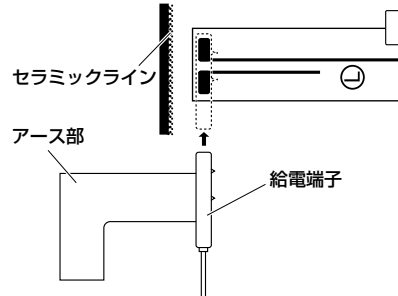
※ 他のアナログ用フィルムアンテナ等が貼り付けられている場合は、100mm程度離してください。

- フロント用フィルムアンテナは左右の区別があります。

<右側(運転席側)> ※



<左側(助手席側)> ※



※車内から見た左右位置になります。



- フィルムアンテナは以下の点に注意して取り付け位置を決めてください。
 - ・ 給電端子のアース部が車両の金属部にしっかりと貼り付けられる。
 - ・ フロントウィンドウのセラミックラインにかからない。
 - ・ 車両の定期点検ステッカー・検査標章(図の 部)にかからない。
 - ・ 運転の妨げにならない。
- アース部は、必ず車両金属部分に貼り付けてください。それ以外に貼り付けた場合は、受信感度が低下し本来の性能が発揮できなくなります。

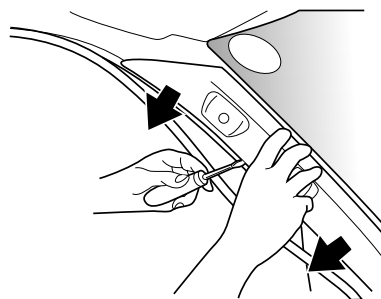
- 2) フィルムアンテナの左右の位置をセロハンテープ等でマーキングする。

配線に必要な内装部品を取り外す

アンテナコードを配線するためと、アースを取るために、内装部品(内張りなど)を取り外します。

※ ここではまだ配線しないでください。

- ① フロントピラー(内張り・左右)を取り外す。



⚠ 注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合や他のフィルムアンテナが貼りつけられている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように、十分離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。

2. リア用フィルムアンテナの取り付け

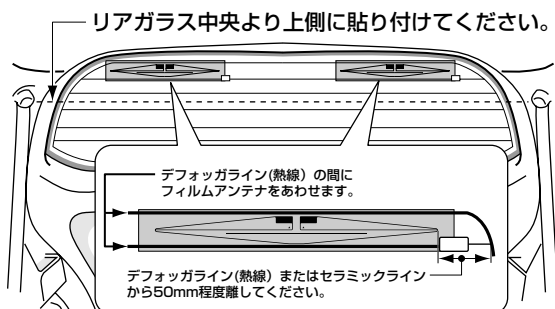
リア用フィルムアンテナは受信感度の性能を保持するため、リアガラスへ貼り付けることをお勧めします。

取り付け条件により貼り付けできない場合は、フロントガラスへ取り付けてください。

詳細は「リア用フィルムアンテナがリアガラスへ取り付けできない場合」(31 ページ) を参照してください。

フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する

- 1) フィルムアンテナをデフォッガライン（熱線）の間に合わせ、セロハンテープで仮止めする。



※リア用フィルムアンテナは左右共通です。



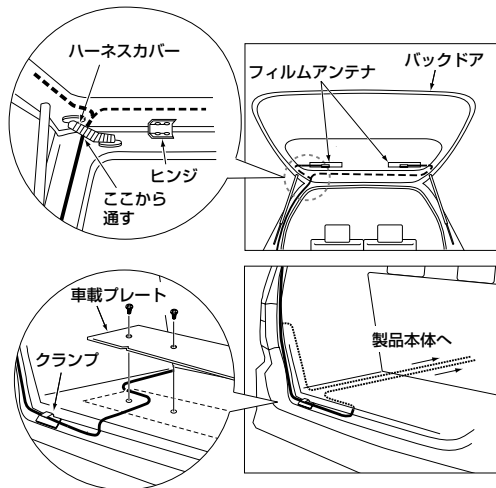
- フィルムアンテナは以下の点に注意して取り付け位置を決めてください。
 - ・ デフォッガライン(熱線)にかからない。
 - ・ セラミックラインにかからない。

- 2) フィルムアンテナの上下左右の位置をセロハンテープ等でマーキングする。

配線に必要な内装部品を取り外す

リア用アンテナコードには給電端子部のアースがないため、必要に応じて内装部品（内張りなど）を取り外してください。

※ ここではまだ配線しないでください。



リアガラスへの配線例

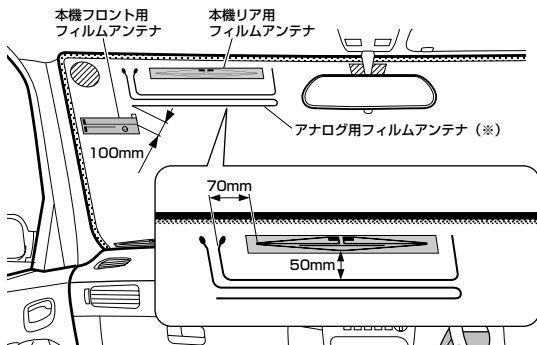
⚠ 注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合や他のフィルムアンテナが貼りつけられている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように、十分離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。

リア用フィルムアンテナがリアガラスへ貼り付けできない場合

リアガラスのデフォッガーライン（熱線）の間隔が狭く、リア用フィルムアンテナが貼り付けできない場合は、フロントガラスへ貼り付けてください。フロントガラスへも貼り付けできない場合は、フロント用フィルムアンテナのみの貼り付けとなります。

- VIE-X07B/VIE-X07S/IVA-D305J/IVA-D305EU/INA-HD55S/INA-HD55SE用アナログフィルムアンテナと組み合わせてフロントガラスへ貼り付ける場合



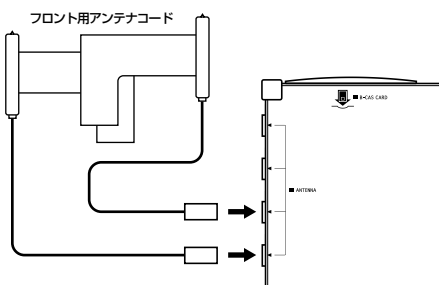
※ VIE-X07B/VIE-X07S/IVA-D305J/IVA-D305EU/INA-HD55S/INA-HD55SE用アナログフィルムアンテナの貼り付け手順は、組み合わせる製品の取扱説明書または、取付説明書を参照してください。



- 貼り付け手順や配線はフロント用フィルムアンテナ同様に行ってください。
- 上記以外の製品のFM-VICS端子兼用アナログフィルムアンテナと併用して貼り付ける際に、貼り付けスペースが確保できずデジタル用フィルムアンテナだけを貼り付けた場合は、ナビゲーションでのVICS受信もできなくなりますので注意してください。
- 上記以外の製品のアナログ用フィルムアンテナと併用して貼り付ける場合は、各アンテナ間を100mm程度離してください。

- リヤ用フィルムアンテナが貼り付けできない場合

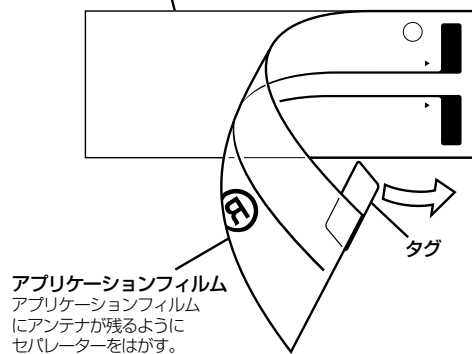
既に貼り付けてあるアナログ用フィルムアンテナ等で貼り付けスペースがない場合は、フロント用フィルムアンテナ2本での受信となり、受信状況によっては受信感度が低下する場合があります。フロント用フィルムアンテナのみの場合は、コードブラグは下記の決められた位置へ差し込んでください。



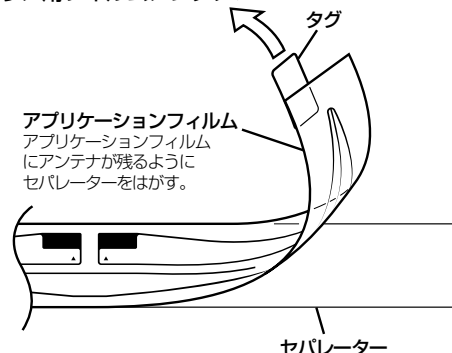
3. フィルムアンテナを貼り付ける準備をする

- 1) 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。
- 2) 貼り付ける位置のウィンドウの汚れ（ごみ・油など）や、くもり止めを付属のクリーナーできれいに拭き取る。
 - ・油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
 - ・ガラスが乾かないうちは貼り付けないでください。アンテナがガラスに貼り付かなくなります。
 - ・フロント用フィルムアンテナを貼り付ける場合は、アース部を貼り付ける金属部分の汚れもきれいに拭き取ってください。
- 3) アンテナのアプリケーションフィルム（糊付きフィルム）のタグ部から、ゆっくりとセパレーター（透明フィルム）をはがす。

<フロント用フィルムアンテナ> セパレーター



<リア用フィルムアンテナ>



※ セパレーターを急に剥がさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。

- ・ タグがあるアプリケーションフィルムにアンテナが残るように、透明のセパレーターを剥がしてください。セパレーターを剥がした状態では、車内から見たアンテナのパターンは銀色、糊面のパターンは黒色になります。

●セパレーター側にアンテナが残った場合には

- ・アプリケーションフィルムを元に戻してアンテナ上を強くこすり、再度セパレーターを剥がします。アプリケーションフィルムにパターンが移っていることを確認しながら、ゆっくり剥がしてください。
- ・最初はアプリケーションフィルムにパターンがあっても、途中からセパレーターに残る場合があります。その場合もアプリケーションフィルムを元に戻してアンテナ上を強くこすり、再度セパレーターを剥がしてください。

⚠ 注意

- セパレーターを剥がすときアプリケーションフィルムを強く曲げると、アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターを剥がした後は、アンテナに触れたり物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

4. フィルムアンテナを貼り付ける

- 1) アプリケーションフィルムの端をガラス貼り付け位置に合わせ、端から貼り付ける。
 - ・気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように、端から貼り付けてください。
 - ※一度アンテナがガラスに貼りつくとも貼りなおができませんので、注意してください。
 - ※アンテナをセラミックラインにかかる位置に貼らないでください。セラミックラインには張り付きません。
- 2) アプリケーションフィルムを全面貼り付け後、アンテナ上を強く押さえてアンテナをガラスに密着させる。
 - ・アンテナのパターン部（銀色部）を中心に強く加圧してください。指で加圧することが困難な場合は、樹脂ヘラ等のツールを用いて加圧してください。パターンのない部分はできるだけ加圧しない方が、後工程で作業が楽になります。
 - ・アンテナをガラスに貼り付けた状態で車両の外側から貼り付け部を見て、アンテナ上に気泡が残っていないことを確認してください。気泡が残っていた場合には、再度その部分を加圧し、気泡がなくなったことを確認してください。
 - ※アンテナ部分の加圧が不足すると、アプリケーションフィルムを剥がす際にアンテナが剥がれる恐れがあります。
 - ※給電部は気泡が残しやすいので、念入りに加圧してください。

- 3) アプリケーションフィルムをタグ部からゆっくり剥がす。

- ・アンテナのパターンがガラスに転写されているのを確認しながら、ゆっくり剥がしてください。
- ・リア用フィルムアンテナのアプリケーションフィルムがデフォッガラインにかかっている場合、デフォッガラインが断線しないように、ゆっくり剥がしてください。
- ・貼り付け完了後は、柔らかい布等で上から押さえるようにアンテナを加圧してください。このとき、アンテナ部を拭くような行為は行わず、上から押さえるだけにしてください。

＜フロント用アンテナ＞



＜リア用アンテナ＞



アンテナだけがガラスに貼りついているのを確認してください。

※タグ部から剥がしてもアンテナと一緒に剥がれる場合には、再度アプリケーションフィルムをガラスに貼り付け、アンテナ上を強くこすってください。

※アプリケーションフィルムを剥がした後はアンテナの給電部に素手で触れないでください。皮脂で給電部が錆びて、性能が低下する恐れがあります。

⚠ 注意

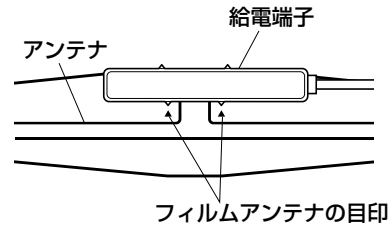
- アプリケーションフィルムを急に剥がしたりしないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- フロントウィンドーへ貼り付ける場合は、自動車検査証や定期点検シールにフィルムアンテナを重ねて貼らないでください。



Memo

- 給電端子部にある幅2mm程度の黒い長方形はアンテナの移行を補助するためのもので、この裏面には糊が付いていません。そのためアンテナがガラスに移行しても浮いて見える事がありますが、異常ではありません。
- また、この部分がアプリケーションフィルムを剥がすときにアンテナから切れてアプリケーションフィルムに残ったままになることがあります。異常ではありません。
- アンテナはパターンが細いため、稀に移行がうまくいかないときがあります。その場合は焦らず一度元の状態に戻し、強くこすりつけてからやり直してください。
- アンテナ貼り付け直後(3時間以上)は、アンテナにガラスクリーナー等を吹き付けたり、アンテナの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、貼り付け後の時間に関わらず、アンテナ上を直接拭くときは柔らかい布等を使用し、パターンに傷がつかないように注意してください。

<リア用フィルムアンテナの場合>



- 3) フロント用フィルムアンテナの場合、給電端子のアース部のはくり紙をはがして、車両金属部分にそって貼り付ける。
- 4) フロント用フィルムアンテナの場合、アース部貼付用テープで固定する。

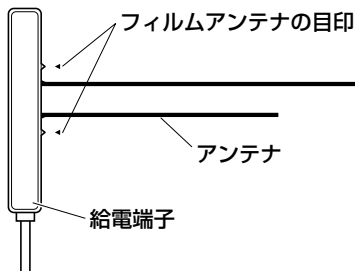
5. コードを配線する

- 1) アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナ入力コードを配線する。
 - ・実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めし、給電端子の先端部がフィルムアンテナに届く位置にくるように調整してください。
 - ・フロント用フィルムアンテナの場合、給電端子のアース部が、車両の金属部に届くように位置を調整してください。

6. 給電端子をフィルムアンテナに取り付ける

- 1) 給電端子部の保護シートを剥がす。
- 2) 給電端子の突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。

<フロント用フィルムアンテナの場合>



7. 配線および内装部品（内張りなど）を元に戻す

- 1) アンテナコードの端子を本機に接続する。（「基本接続図」35ページを参照ください。）
- 2) 付属のクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品（内張りなど）を元に戻す。

⚠ 注意

- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子は必ずアプリケーションフィルムを剥がしてから貼り付けてください。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けないと、端子のスレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません。
- 給電端子に負担を掛けないよう給電端子を手で押さえながらコードの配線を行ってください。

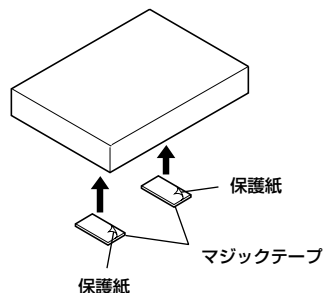
4. 接続する

- 35 ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。(36～37ページ参照) ご希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- 本機に電源コードを接続する。「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点があるところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

マジックテープを使って取り付ける

取り付ける場合は必ず平らな場所を選んでください。

- チューナーBOX を取り付ける。
チューナーBOX に付属のマジックテープを貼り付け、助手席の下などのフロアカーペットに固定する。



Memo

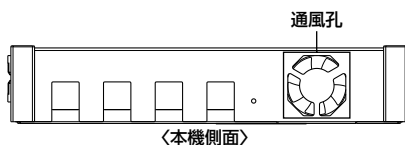
- 車両雑音から守るために
- ・ アースコードを車体の金属部分に確実ににつなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- ・ 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・ バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 取り付ける



注意

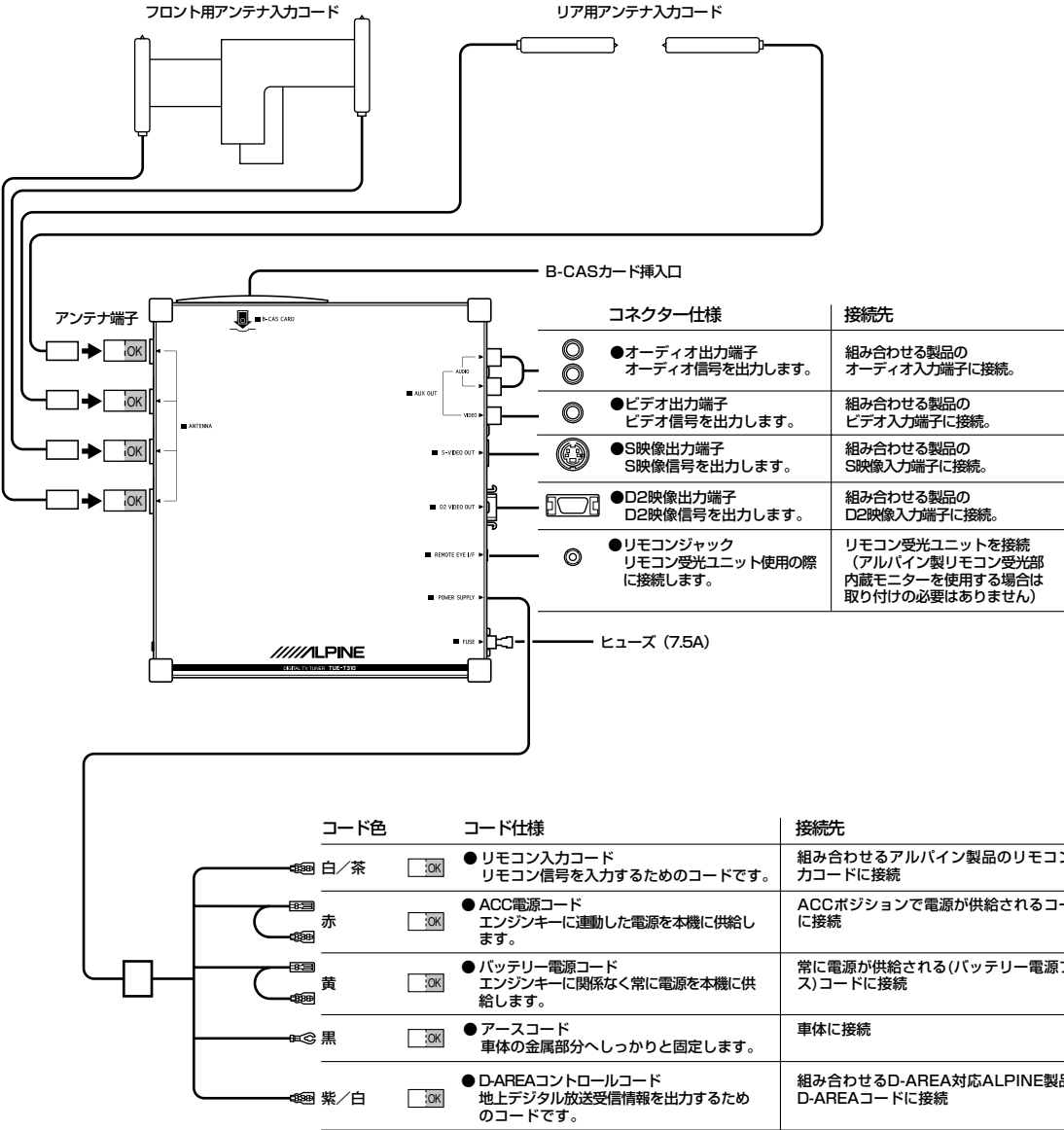
- 通風孔をふさがない。
通風孔をふさがないと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。
- 本機は、直射日光の当たらないシート下やトランクルームに取り付けてください。ただし、シート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温となる場所には取り付けないでください。
- 他製品のBOX類と重ねないように設置してください。発熱・故障の原因になります。



6. 確認する

- コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

基本接続図



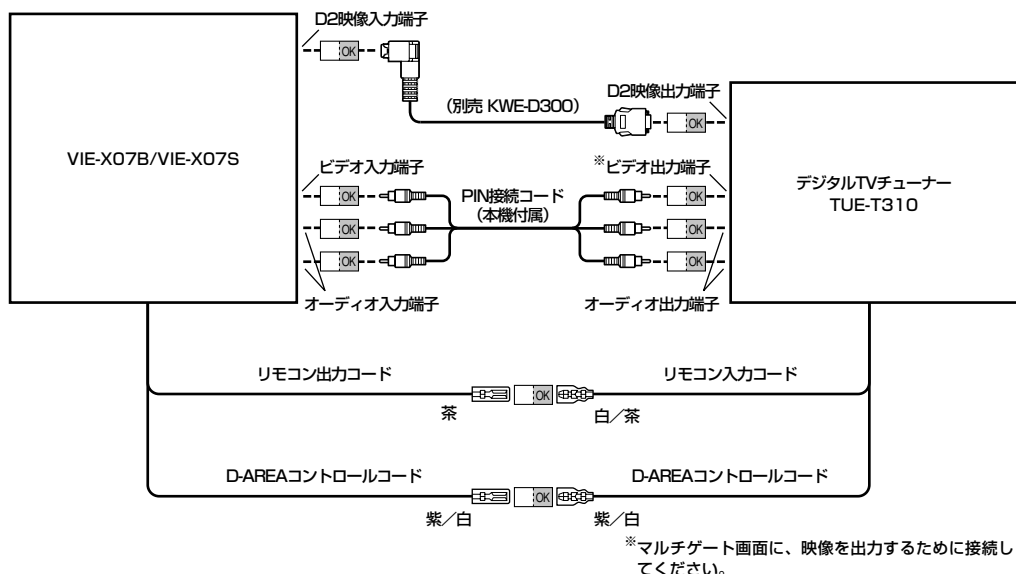
取り付けと接続

注意 正しい接続をする。
記載してある接続先以外には接続しないでください。

- Memo**
- 映像を出力するには、ビデオ出力端子、S映像出力端子、D2映像出力端子のいずれかを接続してください。接続する端子は組み合わせる製品によって異なります。組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
 - リモコン受光ユニットは他社製モニターと接続するときに使用します。

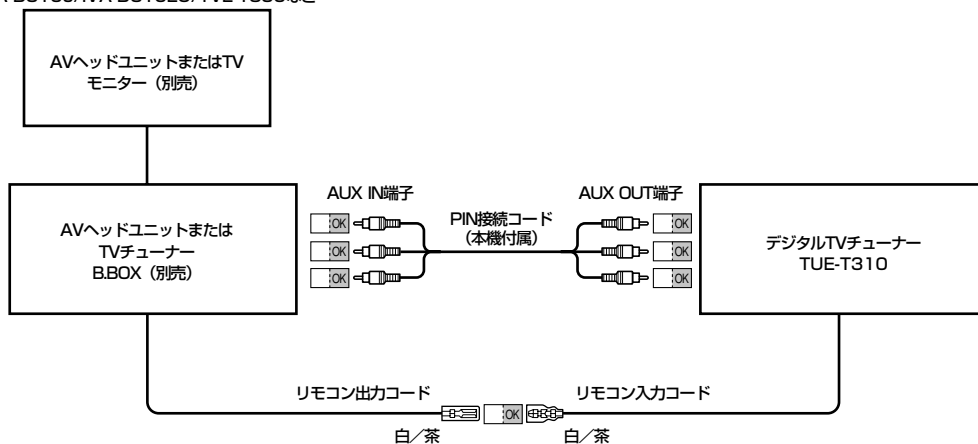
取り付けと接続

● D2 映像対応 VIE-X07B/VIE-X07S を接続する。



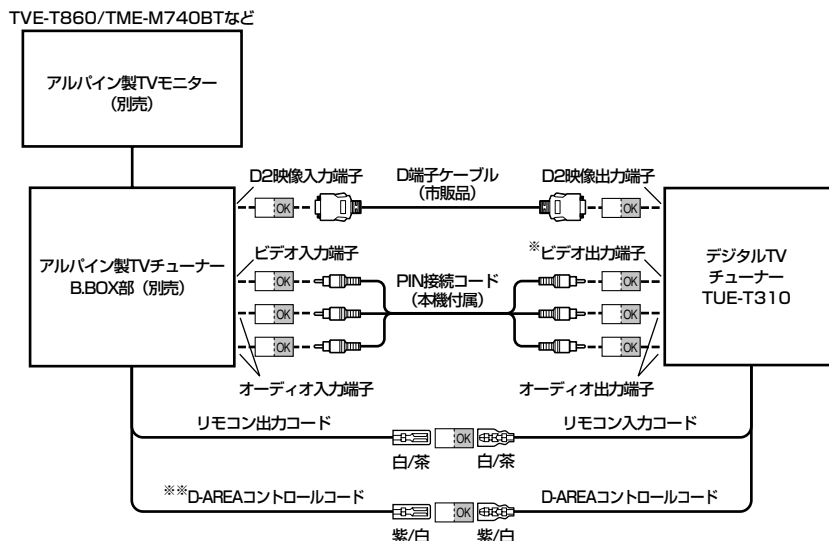
● アルパイン製 AV ヘッドユニット、またはアルパイン製 TV モニターを接続する。

IVA-D310J/IVA-D310EU/TVE-T850など



● 映像を出力するには、ビデオ出力端子、S映像出力端子、D2映像出力端子のうちいずれかを接続してください。接続する端子は組み合わせる製品によって異なります。

● D2 映像対応アルパイン製 TV モニターを接続する。

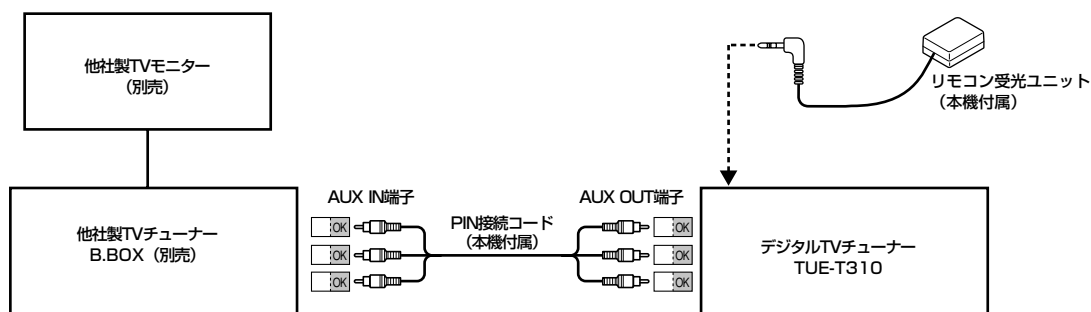


- ※ リアモニター使用時に接続してください。
- ※ モニター側にD-AREAコントロールコード端子がある場合のみ接続してください。



- 映像を出力するには、ビデオ出力端子、S映像出力端子、D2映像出力端子のうちいずれかを接続してください。接続する端子は組み合わせる製品によって異なります。

● 他社製 TV モニターを接続する。



注意 ● リモコン受光ユニットが必要です。



- リモコン入力コード(白/茶)は、他社製TVモニターと接続する場合は、使用しません。
- 映像を出力するには、ビデオ出力端子、S映像出力端子、D2映像出力端子のうちいずれかを接続してください。接続する端子は組み合わせる製品によって異なります。

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- フリップダウンモニター(PKG-1000/PKG-2000/TMX-R850/TMX-R1000)と接続した場合、モニター本体の操作ボタンから一部の操作ができない場合があります。操作できない場合は、リモコンから操作してください。



都道府県設定一覧

地方	地域							
北海道	札幌	函館	旭川	帯広	釧路	北見	室蘭	
東北	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
関東	東京	神奈川	埼玉	千葉	茨城	栃木	群馬	
甲信越	新潟	山梨	長野					
中部	富山	石川	福井	岐阜	愛知	静岡	三重	
近畿	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山		
中国	鳥取	島根	岡山	広島	山口			
四国	徳島	香川	愛媛	高知				
九州・沖縄	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄

用語説明

ワンセグ放送

地上デジタル放送は、1つのチャンネルが13のセグメントに分割され、これらのセグメントをいくつか束ねて映像やデータ、音声などを送信しています。
ワンセグは、これら13セグメントのうち1つを使って、携帯電話や移動端末などに向けた簡易動画や音声などの地上デジタル放送です。

B-CAS カード

B-CAS カードは地上デジタルテレビジョン放送の各種放送サービスを受信するために必要となります。必ずB-CAS カードを受信機に挿入してください。

D2 端子

アナログコンポーネント映像信号と制御信号を1つにまとめた端子。高画質の映像が楽しめます。
480Pに対応しています。

EPG

EPGとは、「Electronic Program Guide」の略で、地上デジタル放送の番組表です。番組表には、番組タイトル、番組説明、放映時間などが含まれます。

ゴースト

放送局からの電波が山や建物で反射して遅れた電波がアンテナに飛び込んで現れる症状です。映像が二重、三重に重なって見にくい画面となります。

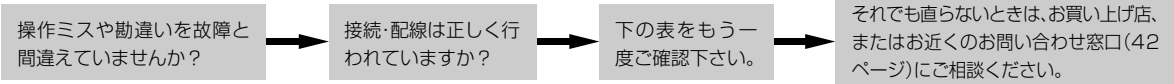
多チャンネル放送（マルチチャンネル放送）

1つの放送局が複数のチャンネルで放送することをいいます。それぞれ違う番組を放送する場合と同じ番組を放送する場合があります。

データ放送

データ放送は、映像や音声に加えて文字情報などのデータを放送するサービスです。ニュースや天気予報、そのほか暮らしに役立つ情報などを見ることができます。

故障かな？と思ったら



操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーをON/OFFしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

症 状	原 因	対 処	参照ページ
動作しない。	電源が入っていない。	モニターおよび本機の電源を入れる。	P9
	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。	P35
Hi-Temp を表示して電源が OFF になる。	周囲の温度が高い。	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を下げる。	
動作が不安定。	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換する。	P7
	リモコンの受光部、送信部が汚れている。	受光部、送信部を清掃する。	
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送用のアンテナが接続されていない。	添付の地上デジタル放送用のアンテナを接続する。	P35
	B-CAS カードが正しく挿入されていない。	B-CAS カードを挿入する。	P6
	放送が行われていない。	他のチャンネルを選ぶ。	

※ 接続している製品（TV モニターなど）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ 表示メッセージ

メッセージ	原因	対処	参照ページ
車内温度が高すぎます。 温度が下がるまで受信機 の電源を OFF にします。 Hi-Temp 検出	車内温度が高い。	窓を開けるなどをして車内温度を下げる。	
アンテナ異常	アンテナに不具合がある。	アンテナプラグが確実に製品本体に接続されている か、あるいはアンテナコードが車両の内張りなどに噛 み込まれ断線していないか確認してください。 それでも直らない場合はアルパインインフォメーショ ンセンターへお問い合わせください。	P 35
受信できません	周波数チャンネルが検出できない／周波 数チャンネルが検出でき 3 桁チャンネル 番号も存在するが放送が休止／終了して いる／プリセットしているチャンネルが 無くなった。	受信可能な他のチャンネルを選ぶ。	P11、12
通信不可	データ放送受信時に双方向サービス対応 のコンテンツ操作を行っている。	双方向サービスには対応していないため、双方向サー ビスではないデータ放送コンテンツを選ぶ。	
データ未取得	データ放送において閲覧対象のコンテン ツが取得できない。	再選局を行う。	P13
B-CAS カード未装着	B-CAS カードが奥までしっかり入ってい ない／前後逆向きに入っている／表裏逆 向きに入っている。	添付の B-CAS カードを正しく挿入する。 それでも直らないときは、B-CAS カードのテストを 行ってください。 ・テストに成功した場合 アルパインインフォメーションセンターへお問い合 わせください。 ・テストに失敗した場合 B-CAS カスタマーセンターへお問い合わせください。	P6、P20
使用不可 B-CAS カード	B-CAS カードが故障している、または交 換の必要がある。	添付の B-CAS カードを正しく挿入する。 それでも直らないときは、B-CAS カスタマーセン ターへお問い合わせください。	P6、P20
B-CAS カード交換			
情報無し B-CAS カード	B-CAS カードが故障している、または使 用できない B-CAS カードが挿入されてい る。	添付の B-CAS カードを正しく挿入する。 それでも直らないときは、B-CAS カスタマーセン ターへお問い合わせください。	P6、P20
視聴不可	有料放送を受信している。	本機では、有料放送には対応していないため、受信可 能なチャンネルを選ぶ。	

B-CAS カスタマーセンター…6 ページを参照してください。

アルパインインフォメーションセンター…42 ページを参照してください。

規格

チューナー部

受信周波数	473.143 ~ 767.143MHz (UHF 13ch ~ 62ch)
実用感度	-75dBm (ANT × 4)

接続端子

ビデオ出力	ピンジャック、同期負、1 Vp-p
Sビデオ出力	Y: 1 Vp-p (75 Ω) C: 0.286 Vp-p (75 Ω)
D2ビデオ出力	Y: 1 Vp-p (75 Ω) P _b /P _r : 0.7 Vp-p (75 Ω)
オーディオ出力	2チャンネル、ピンジャック 出力: 2000mV/1200mV/850mV チャンネルセパレーション: 90dB

リモコン部

使用電源	CR2025 × 1 DC3V
外形寸法	51 (幅) × 119 (高さ) × 13 (奥行) mm
重量	50g (電池含まず)

- * 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser DTV Profile BML Edition を搭載しています。
- * ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- * 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- * Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
- * Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲: 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
動作温度範囲	-5℃ ~ +50℃
保存温度範囲	-20℃ ~ +80℃
外形寸法	164 (幅) × 36 (高さ) × 184 (奥行) mm
重量	0.95 kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本説明書のイラストは印刷条件により印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
お買い上げ店、または42ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または42ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
 <一般回線ご利用のお客様用>
 TEL:0570-006636
 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
 <携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>
 TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30~12:00 13:00~17:30
 (土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
 FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北日本エリア 仙台オフィス 札幌オフィス 郡山オフィス	022-239-5331 011-621-4485 024-925-3811	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東3-3-3 〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号	宮城県/山形県/秋田県/青森県/岩手県 北海道全域 福島県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-26-0783 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0487 長野県松本市世部1丁目3番7号オフィスGB205号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部/埼玉県/群馬県/栃木県 長野県/山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部/千葉県/茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部/神奈川県/ 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108	愛知県/三重県/岐阜県/ 静岡県(大井川以西)/石川県/ 富山県/福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府/奈良県/和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス	086-243-8257 082-846-1175	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号	岡山県/島根県/鳥取県/徳島県/香川県/ 愛媛県 広島県/山口県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県/大分県/佐賀県/熊本県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上鳥羽高島町88-2	京都府/滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県 /新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/ 岡山県/島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/ 徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県

索引

ア行

インジケータ一覧	16
映像信号	17
オーディオレベル	19
オートプリセット	10
お問い合わせ窓口	42
音声信号	17
音声多重	17

カ行

現在時刻	10、16、18
現在番組	15
現在番組情報	16
ゴースト	38
故障かな?と思ったら	39

サ行

システム設定	19
字幕言語	17
周波数チャンネル	16
受信エリア	4
受信画面の見かた	10
受信状態	10、16、18
受信情報画面の見かた	15
受信情報を表示する	16
受信モードの自動切り替え	19
詳細情報を見る	17
信号切換え	17
信号を切りかえる	17
接続	34
設定の初期化	21

タ行

多チャンネル放送	38
地上デジタル放送インジケータ	15
地上デジタル放送について	4
チャンネルスキャン	10
チャンネルを選ぶ (地上デジタル)	12
チャンネルを選ぶ (ワンセグ)	15
チャンネルを登録する	13
データ取得状態	18
データ放送	38
データ放送の呼び出し	14
データ放送を見る	13
電源のON/OFF	9
登録したチャンネルを呼び出す	11
特長	4
取り付け	28

ハ行

番組情報	18
番組情報 (EPG)	12、16
ピーキャス	20
ピーキャスカード	6
表示設定	18
プリセット番号	10、15、16
プリセットリスト	11
放送局名	15、16
保証について	41

マ行

文字スーパー	17
--------------	----

ヤ行

用語説明	38
------------	----

ラ行

リセット	9
リセットスイッチ	9
リモコン	7
リモコンボタンの機能	8

ワ行

ワンセグインジケータ	16
ワンセグ放送	38
ワンセグ放送インジケータ	15
ワンセグ放送を見る	15

A to Z

Audio level	19
B-CAS カード	6、20、38
CH 情報	18
D2 端子	38
EPG	38
SEEK	12

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのためには是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・お客様の同意がある場合。
- ・お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・お客様を識別することができない状態で開示する場合。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636

●電話受付時間 9:30~12:00 13:00~17:30 (土日、祝日、弊社休業日を除く)

●電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX:048-662-6676

●アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

FAQ (よくあるご質問) <http://www.alpine.co.jp/support/faq/>

アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (Y-676)

68-06194Z83-A



古紙配合率100%再生紙を使用しています